

■ 私書箱の“担当者ランク”について

会計事務所と顧問先の情報共有システム [私書箱] では、会計事務所ユーザーの「担当者ランク」を4段階から設定することができます。

会計事務所ユーザーは、このランクに基づいて私書箱各メニューの操作範囲が制限されます。

●● 私書箱 システム管理 - [ユーザー管理]

	ランクA	ランクB	ランクC	証憑管理限定
	全ての会社	自身が“担当者”と設定されている会社		
質疑応答	○	○	▲	×
報告書	○	○	△	×
申告書・資料等	○	○	△	×
証憑管理	○	○	○	○
お客様情報	○	×	×	×
担当者情報	○	×	×	×
報告書承認者	○	×	×	×

▲ = 質疑のテキスト登録までは可能だが相手への送信は不可 △ = 閲覧のみ可能

ランク [A] : すべての会社のすべてのメニューを操作。

ランク [B] : 自身が担当者である会社の各メニューを操作。ただし、ユーザー追加などの操作は不可。

ランク [C] : 自身が担当者である会社について主に閲覧のみ可。(新人職員を想定)

証憑管理限定 : 自身が担当者である会社の証憑管理のみ操作。(スキャン専任者などを想定)

●● ランクの設定は「システム管理者」が行います

各ユーザーに対するランク設定は「システム管理者」と設定されているユーザーが行います。

システム管理者	<input checked="" type="checkbox"/>
担当者ランク	<input checked="" type="checkbox"/> ランクA <input type="checkbox"/> ランクB <input type="checkbox"/> ランクC <input type="checkbox"/> 証憑管理限定

システム管理者は、自身を含めた全ユーザーの全設定を変更することができます。

私書箱の運用にあたっては、このシステム管理者の割り当てにご注意ください。

(例:システム管理者であれば、自身のランクをAへ変更することもできる)